

東京カンテイ マンションデータ白書 2013【速報値版】発表

首都圏新築マンションは前年比+17.6%の54,289戸の新規分譲 2007年以来6年ぶりに5万戸台を回復  
 全国96,295戸 首都圏 中部圏 北海道 広島県 福岡県が回復 前年比10.7%増加

全国都道府県別 新築マンション分譲戸数推移

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	13年前年比
<b>北海道</b>	1,677	1,320	1,782	1,700	2,230	131.2%
青森県	109	10		55	48	87.3%
岩手県	133	170		203	20	9.9%
宮城県	1,088	277	482	1,109	914	82.4%
秋田県	50	72				—
山形県	59	72	44	63	4	6.3%
福島県	115	123	28		311	—
<b>東北</b>	1,554	724	554	1,430	1,297	90.7%
茨城県	679	60	106	600	255	42.5%
栃木県	563	95	59	191	90	47.1%
群馬県	139	112		130	231	177.7%
<b>北関東</b>	1,381	267	165	921	576	62.5%
埼玉県	3,601	5,281	3,953	3,785	5,356	141.5%
千葉県	3,160	3,478	2,708	2,887	4,333	150.1%
東京都	23,340	27,977	27,705	28,925	34,049	117.7%
神奈川県	7,958	10,607	11,113	10,571	10,551	99.8%
<b>首都圏</b>	38,059	47,343	45,479	46,168	54,289	117.6%
新潟県	493	156	58	146	107	73.3%
富山県	105	41	126		184	—
石川県	35	39	92	144	198	137.5%
福井県	206	75		46		—
山梨県	94	100			25	—
長野県	248	80	140	178	302	169.7%
<b>北陸・中部</b>	1,181	491	416	514	816	158.8%
岐阜県	210	15	370	142	197	138.7%
静岡県	928	626	869	1,199	651	54.3%
愛知県	4,050	3,724	4,535	3,947	4,989	126.4%
三重県	317	241	79	167	136	81.4%
<b>中部圏</b>	5,505	4,606	5,853	5,455	5,973	109.5%
滋賀県	1,034	388	431	596	481	80.7%
京都府	1,103	2,019	1,558	1,504	1,986	132.0%
大阪府	11,616	13,755	8,051	10,653	7,281	68.3%
兵庫県	3,007	5,153	4,528	4,434	4,058	91.5%
奈良県	259	293	226	669	720	107.6%
和歌山県	167	110		44	237	538.6%
<b>近畿圏</b>	17,186	21,718	14,794	17,900	14,763	82.5%
鳥取県	75	16	54	40	38	95.0%
島根県	54	103		114	93	81.6%
岡山県	527	472	719	590	886	150.2%
広島県	1,641	1,254	1,945	1,897	2,241	118.1%
山口県	239	377	391	751	743	98.9%
<b>中国</b>	2,536	2,222	3,109	3,392	4,001	118.0%
徳島県	218	72	125	110	28	25.5%
香川県	397	420	355	404	354	87.6%
愛媛県	441	352	255	276	501	181.5%
高知県	64	68	166	180	212	117.8%
<b>四国</b>	1,120	912	901	970	1,095	112.9%
福岡県	4,813	4,123	4,296	4,934	7,235	146.6%
佐賀県	49	63	200	178	371	208.4%
長崎県	584	209	418	464	431	92.9%
熊本県	609	205	420	745	609	81.7%
大分県	284	336	283	684	534	78.1%
宮崎県	228	79	105	288	377	130.9%
鹿児島県	788	176	492	466	368	79.0%
<b>九州</b>	7,355	5,191	6,214	7,759	9,925	127.9%
沖縄県	314	382	451	814	1,330	163.4%
<b>全国</b>	77,868	85,176	79,718	87,023	96,295	110.7%

●首都圏（1都3県）

首都圏全体では54,289戸と、2012年の46,168戸と比べて17.6%増加し、2007年以来6年ぶりに5万戸台を回復した。都県別に見ると千葉県では、2008年以来となる4,000戸超の新規分譲で4,333戸が供給された。埼玉県は5,356戸で前年比41.5%増加し、2010年以後の5,000戸超の供給となった。東京都は34,049戸分譲され17.7%増加と2006年以後の3万戸台を記録。神奈川県も10,551戸分譲され、0.2%減少とほぼ横ばいで、4年連続で1万戸超の水準は維持している。首都圏の供給増加は不動産価格の先高感や消費増税による駆け込み需要、相続税対策需要などによるものである。

●近畿圏（2府4県）

近畿圏は14,763戸と前年の17,900戸から17.5%減少した。近畿圏の分譲戸数減少の主要因は大阪府の供給減で、大阪府では7,281戸と2年ぶりの1万戸割れとなった。兵庫県では4,058戸で8.5%減少、滋賀県では481戸で19.3%減少したが、京都府は1,986戸で32.0%増加、奈良県は720戸で7.6%増加、和歌山県も237戸に増加した。近畿圏では京都府以外目立った供給拡大がなく、回復の遅れによって3年連続で2万戸を割り込む状況が続いている。

●中部圏（東海4県）

中部圏は5,973戸と2012年の5,455戸に比べて9.5%増加した。愛知県は前年から26.4%増加して4,989戸となり、2008年以後の水準に回復した。岐阜県も197戸で38.7%増加したが、三重県は136戸で18.6%減少、静岡県も651戸で45.7%減少した。中部圏全体では2012年に4,000戸を割り込んだ愛知県で供給が回復し、新規供給戸数が増加した。愛知県および名古屋市への一極集中が進んでいる。